平成29年度予算見積調書

課室名:情報システム課

担当名:システム指導・集中化担当

内線: 2287 (単位:千円)

						1 1/01/4 - 220	•	(+12.111)		
番号事業名			会計	款	項	目		説明事業		
B15 統合プラットフォーム推進事業費			一般会	総務費	企画費	企画調整費	電子計算運営費			
			計							
事業 平成27年度~ 期間	根 拠 なし 法 令		挑戦項目							
州 川 1 事業の概要	- 事光彩明	分野施策 061352 I C T を活用した県民の利便性の向上 5 事業説明								
	ォーム)上に、大規模シス									
集約化を進め、更なる経	。集約 ア 統合基盤運	ア 統合基盤運用及びシステム集約 243,795千円								
化により、個別の運用負 の統一的な向上などを図	レベル (7)統合基盤へ (4)統合基般の	(7)統合基盤への移行等 31,053千円 (7)統合基盤の運用 212,742千円								
		・クラウド	・クラウドサービスの利用							
統合基盤運用及びシス		・回線費用 ・サービスデスク								
			(2)事業計画 ア 統合基盤運用							
	クラウドサー	クラウドサービス事業者が提供する環境に統合基盤を運用する。								
┃										
		ウン次年度移行	予定シス	テム調査	ž	,,,) IV / GO			
	(3) 事業効果	(3) 事業効果 ア 庁内情報システム運用経費の削減、平準化、管理負担の軽減 イ システムのセキュリティレベルの向上 ウ データセンターの活用によるIT-BCPの向上								
1.500 \$ 11 \$ 25 1										
2 事業主体及び負担区 (県10/10)	ウ データセン									
(条10/10)		(1) 圓民,民期沃	 (4)県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況							
	ア統合基盤の	ア 統合基盤の構築により、情報システムの集約を進めていく中で、システム運用業務の見直しを図ることで、職員 📕								
	の業務負荷軽	の業務負荷軽減を図る。また、クラウドサービスを利用することで、民間のクラウドサービス事業者が持つセキュ リティ機能や災害時の対応力を活用する。								
3 地方財政措置の状況	7 / 1 //X HG (9C 🗖 👊 🕠	. Y1\nr\71 G	- 111/11/7	少 ○					
なし										
1										
9,500千円×1.0人=9,500千円										
予算額			財源内訳						前年との 対比	
」								一般財源		
決定額 24	3, 795							243, 795	112, 283	
前年額 13	1, 512							131, 512		